



平成 20 年 3 月 13 日

各 位

株式会社 レオパレス21
代表取締役社長 北川 芳輝
(コード番号 8 8 4 8 ・東証第一部)
問合せ先
取締役経営企画本部本部長 持田 直道
電 話 0 3 - 5 3 5 0 - 0 2 1 6

平成 20 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 11 月 22 日の中間決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

・平成 20 年 3 月期 通期業績予想の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

【連結】

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	706,700	82,200	80,000	16,500
今回修正予想 (B)	671,000	66,800	58,500	300
増減額 (B - A)	35,700	15,400	21,500	16,200
増減率 (%)	5.1%	18.7%	26.9%	98.2%
(ご参考)前期実績 (平成 19 年 3 月期)	631,608	76,007	73,002	37,358

【単体】

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	700,000	80,600	78,600	16,700
今回修正予想 (B)	664,000	67,000	59,500	1,800
増減額 (B - A)	36,000	13,600	19,100	14,900
増減率 (%)	5.1%	16.9%	24.3%	89.2%
(ご参考)前期実績 (平成 19 年 3 月期)	624,553	74,745	74,183	39,597

修正の理由

売上高につきましては、アパート建築請負事業の売上高減少が主な要因であります。これは建築基準法改正に伴う昨年7～8月の建築確認の遅れによる建築確認申請から完成までの工期長期化の影響が当初の想定以上に大きく、期末竣工させるべく施工能力を最大限にまで向上させておりますが、計画の一部の竣工が翌期となる見通しとなったことによるものであります。

住宅事業においても、不動産市況の悪化の影響もあり計画を下回る見通しとなったものであります。

利益面につきましては、売上高が計画を下回ることにより、営業利益が減少する見通しであります。経常利益は当下期において急激な円高により為替差損の発生が見込まれることから、大幅減少となる見通しであります。さらに、中間期に計上しました賃貸事業に係る477億円の特別損失等があり、当期純利益は計画比大幅な減少となる見通しであります。

連結業績につきましては、主に単体業績予想の修正によるものであります。なお、為替差損は期末為替レートを3月6日現在の103.78円/USドルの想定で約72億円を織込んでおります。

当期のアパート建築請負事業売上高は計画比減少することとなりますが、受注は引き続き好調で計画をさらに上回る見込であり、期末受注残高は大幅増加を確保できることが確実であります。また、賃貸事業においても、営業店舗網を前倒しで全国的に見直したこと等により、当期は経費が先行してはいますが、安定して高入居率を維持することが可能となる見通しであります。

当期は、諸々の要因が重なり一時的に大幅な減益を余儀なくされることとなりますが、当社のコア事業であるアパート建築請負・賃貸事業は順調に推移しており、今後とも増収増益基調は維持できる見通しであります。

当期配当につきましては、当初予定を変更せず、期末1株当たり50円（中間配当30円実施済）を実施する予定であります。

< アパート建築請負事業 受注高・売上高・受注残高推移 >

（単位：億円）

		受注高	売上高	受注残高
平成18年3月期		3,094	1,952	2,242
平成19年3月期		3,406	3,161	2,487
平成20年3月期（見込）		4,200	3,260	3,427
前期比	増減額	794	99	940
	増減率	23.3%	3.1%	37.8%

上記業績予想等は、現時点において入手可能な情報に基づいて算出しており、実際の業績は、今後様々な要因により異なる場合があることにご留意下さい。

以上